

平成 18 年 10 月 21 日(土)~ 24 日(火) 開催

フォークダンス

会場いっばいに大輪の花

フォークダンス競技は、フォークダンス部門 6 人、日本民謡部門 4 人の計 10 人が各県 1 チームで参加します。全国から集まったチームを 8 ブロックに分け(フォークダンス 36 ~ 42 人、日本民謡 24 ~ 28 人)、一つのステージでブロック対抗により踊りの演技を競います。出場チームは、事前に課題曲をフォークダンスと日本民謡の各部門 4 曲ずつ与えられ、曲ごとの踊りを各チームごとにマスターして大会に臨みますが、発表曲(各部門 1 曲)は大会前日に代表者会議で抽選により決定されます。審査は、踊りの構成、演出、正確性、雰囲気、表情、アイデアなどが採点基準となります。

演技が始まると、それぞれの衣装を身にまとった参加者は、ブロック全員の知恵と技で構成・演出などを工夫し、初めて出会ったとは思えないほどの結束力で一つになります。そして、交流しながら最優秀のブロックに贈られるスポレク賞を目指し、会場いっばいに大輪の花を咲かせます。



社団法人日本フォークダンス連盟鳥取県支部
はまもと かよこ
浜本 嘉代子 さん

競技会場では、誰でもすぐに踊れる楽しいフォークダンスと日本民謡が選手と観客を一体にしてくれます。みなさん一緒に舞って踊って、そして観て、楽しいひとときを過ごしてみませんか。



募集

全国スポレク祭フォークダンス競技にチームで参加してみませんか!

10 月 22 日・23 日に、本市で開催される「スポレク鳥取 2006」フォークダンス競技への参加チームを募集します。フォークダンス 6 人、日本民謡 4 人、計 10 人 1 チームでご応募ください。

参加選手は、講習会に参加し、課題曲をマスターしていただきます。

募集期限 5 月 25 日(木)

申込先 社団法人日本フォークダンス連盟
鳥取県支部 理事長 浜本嘉代子

TEL (0857) 27・5261 (国府中学校内)

問い合わせ先

全国スポーツ・レクリエーション祭推進室(文化センター内・吉方温泉三丁目)

TEL (0857) 27・8001

医療通信

Vol.37 **最新画像診断 ~ MRI のミニ知識 ~**

MRI は人体を強力な磁場の中に置いて、人体の水分子中に多量に含まれるプロトン (^1H) を対象に画像化する診断装置です。組織のコントラストが高く、骨の影響を受けないなど X 線 CT に勝る点があります。しかし、心臓ペースメーカーなどの磁性体を体内に持っている人は装置に入ることが出来ませんし、CT に比べて窮屈、大きな音がする、時間がかかるなどの欠点があります。

MRI では、基本的には T1 強調像、T2 強調像という信号の異なる 2 種類の画像を見比べて診断しますが、目的に合わせてさまざまな撮像法を用いて診断します。例えば、血液など流れのあるものを強調する MRA という撮像法(血管撮影)や胆汁など動かない液体を強調する MRCP という撮像法などがあります。今回はこのうち MRCP を紹介します。

MRCP は MR 膵胆管造影とも呼ばれますが、造影剤をまったく使わず、じっと寝てい

るか少し息を止めていただくだけで撮像でき、膵管や胆管、そして胆嚢にある膵液や胆汁などの液体を強調して画像にし、胆管や膵管の病変や胆石の有無などを診断します。別の診断法としては CT、超音波検査、PTC、ERCP などがありますが、これらの検査方法は、造影剤の投与が必要であったり、腸管のガスなどでじゃまされたり、閉塞があればその先が造影できなかつたりするため、診断に限界があります。

この点 MRCP は内部に胆汁や膵液があればすべて写るので、超音波検査などでは分からなかった病変を検出することも可能です。人間ドックなどの超音波検査で異常があった場合は、MRCP 検査を受けることをお勧めします。

市立病院 診療部長(放射線科)
松木勉



MRCP による胆管閉塞の写真

問い合わせ先

市立病院総務課 TEL (0857) 37・1522